

授業科目名： 日本語アカデミック・ライティング			担当教員名： 宮崎 七湖
選択必修： 選択	単位数： 1	開講学期： 1 後	開講言語： 日本語

ディプロマポリシーとの関連

国際社会の知識	政策分析能力	英語コミュニケーション能力
●		

○授業の到達目標及びテーマ

この授業では、中上級レベルの日本語学習者が専門的なレポートや論文を書くために必要な表現、文法、文章構成などを学び、正しい表現、文法を使い、読み手が理解しやすいレポート・論文が書けるようになることを目指します。

○授業の概要

レポート・論文作成の基本的知識を学びます。教科書は留学生が誤りやすい文法項目が扱われています。受講生がレポートや論文を書くときに、このような項目を意識し、より正しく、読みやすい文章が書けるようになることが期待されます。

また、教科書は文法項目ごとの内容になっていますが、豊富な談話レベルの練習問題が掲載されています。レポートや論文の序論、本論、結論といった各部分の構成や、よく使用される表現も文法とともに学習することができます。

○授業の方法

まず、課ごとの学習ポイントを確認し、教科書の説明を理解します。次に基本的な練習問題を解き、次に応用練習を解きます。最後に課題作文に取り組みます。課題作文は宿題として仕上げ、次の週に提出します。提出した課題作文は、次の週に返却、フィードバックをします。

○授業計画

- 第1回 コース・オリエンテーション／自己紹介を書く
- 第2回 書き言葉に統一する
- 第3回 文の意味を明確にする
- 第4回 「こと」と「の」を使い分ける
- 第5回 文をシンプルにする
- 第6回 語彙を適切に選択する
- 第7回 文を首尾一貫させる
- 第8回 形が似ている表現を使い分ける
- 第9回 「は」と「が」を使い分ける
- 第10回 書き手の視点を示す
- 第11回 過去と現在のつながりを示す
- 第12回 文章の中の語を指し示す
- 第13回 前後の関係を表す

第14回 前の文に関連づける

第15回 効果的に意見を述べる

注1) スケジュールは変更する可能性があります。

注2) 本科目は、日本語能力が「日本語能力試験(JLPT)」において N2相当の学生が履修することができます。

注3) テキストや授業内容は受講生の日本語習熟度を見て、変更する可能性があります。

○テキスト

小森万里・三井久美子(2016)『ここがポイント！レポート・論文を書くための日本語文法』くろしお出版

○参考書・参考資料等

1. アカデミック・ジャパニーズ研究会編著(2015)『大学・大学院留学生の日本語④ 論文作成編』アルク 1
2. 二通信子他(2009)『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』東京大学出版

○学生に対する評価

課題	80%
クラス参加度・貢献度	20%

○オンライン授業に切り替えた場合の授業形態

授業形態 : オンライン授業 (リアルタイム配信型)
資料・連絡事項掲載場所 : 担当教員に確認